



INDEX

P1-ゆめっとフェスタ2007
実行委員長挨拶

P2、3-ゆめっとフェスタ2007
開催報告

P4-ゆめっとフェスタ2007
ブレ企画「ゆめっとな夜」
開催報告

ゆめっとフェスタ2007を終えて

実行委員長 梅原正俊



ゆめっとフェスタ2007
梅原正俊実行委員長

11月18日の日曜日、新風館でゆめっとフェスタ2007が開催されました。天候が危ぶまれましたが、みんなの思いが通じたのか、雨も降らず、無事開催することができました。風が強く、気温がぐっと下がった日ではありましたが、大勢の方々がかけつけてくださり、盛大な催しとなりました。

今回ゆめっとフェスタ2007の企画委員長、そして実行委員長という大役をいただき、それを終えた感想は、学ばしてもらったなあ、という感謝、その一点に尽きます。どこに実施の目的をおくのか、限られた予算のなかでの企画の立て方から、見せ方、どの方々にしていただくのか、その方々との調整、広報、あらゆる項目においてすべてが学習でした。いい経験をつまさせていただきましたと思っています。

前々から話がありましたが、今回からゆめっとフェスタの主催団体であるゆめっと京都の活動方針に大きな転換がありました。それは自主企画でイベントを行う団体から、加盟団体のなかで、またはその以外の団体のなかで、それらをつなぐ団体になっていこうというものでした。既存の枠に縛られずに、それぞれの団体のいいところ・強みを別の団体のいいところ・強みとつなぐことによってより高い相乗効果と新たなネットワークの創出を狙いとしました。もうひとつ、府内で活動する若者たちにとって有益な組織となろう、彼らを取り込んでいこうという狙いもありました。そういった意味で今回のゆめっとフェスタ2007はゆめっと京都にとって新たな第一歩という意味合いもありました。今回のイベントを一過性のイベントで終わらせないためにも、今回の成果を未来につなげていくためにも、ゆめっと京都自体の存在意義を高めていくためにも、ゆめっと京都の継続的な活動が必要となるということ強く感じました。

今回ゲストとして参加していただいた、京都学生祭典、西院ミュージックフェスティバル実行委員会、大風流、きゆうたな倶楽部、まち遊びフェスティバル実行委員会、ライブキッズのみなさん、そして京炎ぶでそれ、シアターズーイ、OIOI、歌手のコスタさん、みなさんにはご出演いただいたことだけではなく、大きな感動をいただいたことそのことに感謝しています。特に6団体の方々は若者が行政を巻き込み、企業を巻き込み、地元の住民を巻き込み、それぞれの場所で大きな成果をあげておられます。理念、創造力、企画力、柔軟性、集客力、組織力、イベントをあるいは団体活動を行っていくうえで何が必要なのか、その多くを学ばせていただきました。それぞれの活動に参加した若者にとっては一生忘れられない思い出になるなあと思いました。

最後になりましたが、私をささえサポートし学ばせてくださった方々すべてに感謝の念を申し上げます。そのお気持ちにそむかぬよう今後ともがんばらせていただこうと考えています。

